
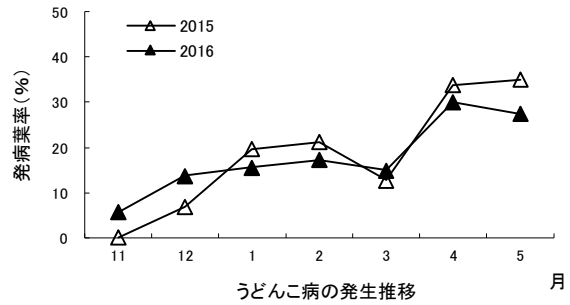
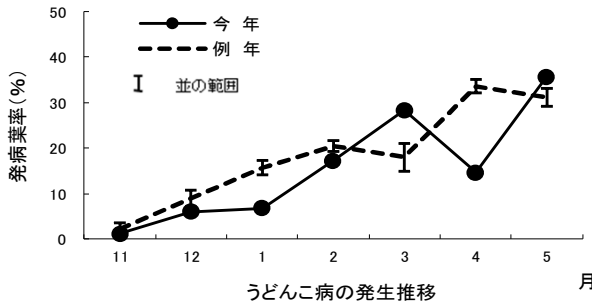


作物	ゴーヤー（施設）	地域	八重山群島
病害虫名	① うどんこ病		
5月の発生量（現況）		多	
6月の増減傾向		↗	
増減傾向の根拠		今後1か月の降水量が平年より少ない見通しから、5月より発生量は増加すると考えられる。	


発生量の根拠（調査結果）



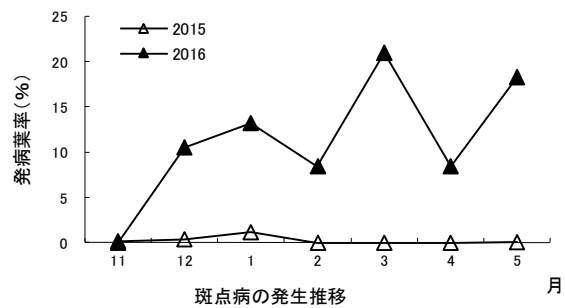
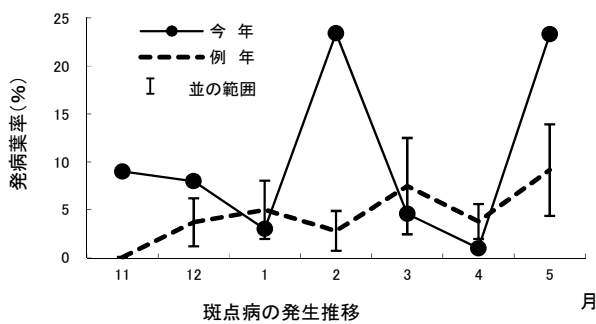
- ・ 調査地域：石垣市
- ・ 発病葉率 (%)：35.7（前年27.4、例年31.2、判定「多」） ※一部ほ場で多発
- ・ 発生ほ場率 (%)：66.7（前年100）

防除のポイント

- ・ 老葉や病葉は発生源になるので、施設外に持ち出し処分する。
- ・ 過繁茂を避け、透光通風をよくする。
- ・ 多湿条件で発生し、その後乾燥が続くと被害が拡大するため、湿度管理に注意する。
- ・ 多発すると防除が困難になるため、予防散布に重点を置く。硫黄粉剤による予防は効果が期待できる。

作物	ゴーヤー（施設）	地域	八重山群島
病害虫名	② 斑点病		
5月の発生量（現況）		多	
6月の増減傾向		↓	
増減傾向の根拠		今後1か月の降水量が平年より少ない見通しから、5月より発生量は減少すると考えられる。	


発生量の根拠（調査結果）



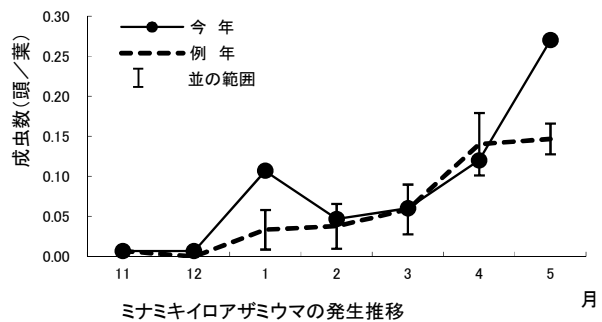
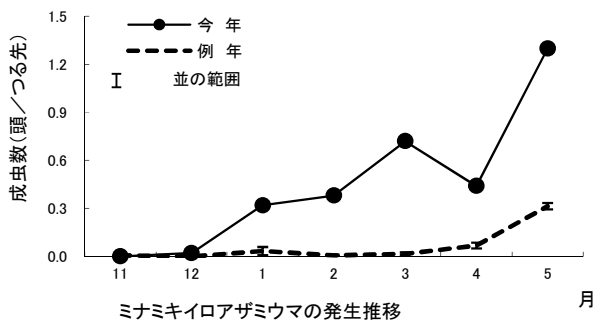
- ・ 調査地域：石垣市
- ・ 発病葉率 (%)：23.3（前年18.3、平年9.2、判定「多」）
- ・ 発生ほ場率 (%)：100（前年75.0）

防除のポイント

- ・ 葉には周囲が黄色で中央が灰色の円形病斑を形成し、果実では表面にすす状のカビを生じる。
- ・ 老葉や病葉は発生源になるので、施設外に持ち出し処分する。
- ・ 過繁茂を避け、透光通風をよくする。
- ・ 多湿条件で発生が助長されるため、湿度管理に注意する。またビニールの破れは補修する。

作物	ゴーヤー（施設）	地域	八重山群島
病害虫名	③ ミナミキイロアザミウマ		
5月の発生量（現況）	多		
6月の増減傾向	↗		
増減傾向の根拠	今後1か月の気温が平年より高い見通しから、5月より発生量は増加すると考えられる。		


発生量の根拠（調査結果）



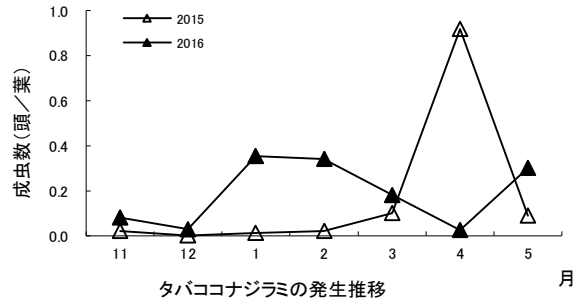
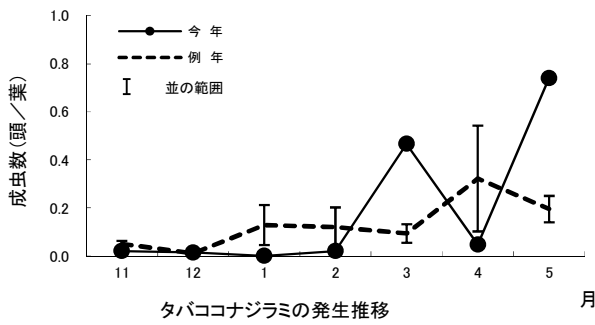
- ・ 調査地域：石垣市
 - ・ ミナミキイロアザミウマ成虫数（頭/つる先）：1.30（前年0.28、例年0.31、判定「多」）
 - ・ ミナミキイロアザミウマ成虫数（頭/葉）：0.27（前年0.18、例年0.15、判定「多」）
 - ・ アザミウマ類幼虫数（頭/つる先）：0.27
 - ・ アザミウマ類幼虫数（頭/葉）：0.46
- ※一部ほ場で多発

防除のポイント

- ・ 本種は吸汁により果実表面にケロイド状の被害を生じるほか、灰白色斑紋病を媒介する。
- ・ 施設の出入口や側窓は0.6ミリ以下のネット等で被覆し、成虫の侵入を防ぐ。
- ・ 施設周辺の雑草は本種の発生源になるため除去する。
- ・ 多発すると防除が困難になるので、つる先や葉裏をよく観察し、早期発見・防除に努める。
- ・ 薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。

作物	ゴーヤー（施設）	地域	八重山群島
病害虫名	④ タバココナジラミ		
5月の発生量（現況）		多	
6月の増減傾向		↗	
増減傾向の根拠		今後1か月の気温が平年より高い見通しから、5月より発生量は増加すると考えられる。	


発生量の根拠（調査結果）



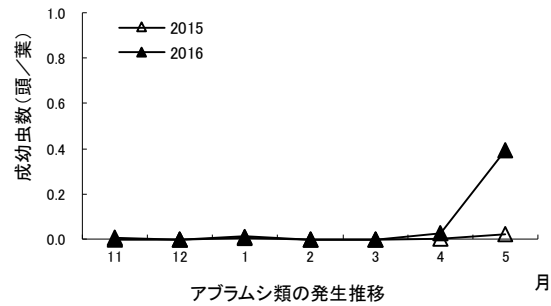
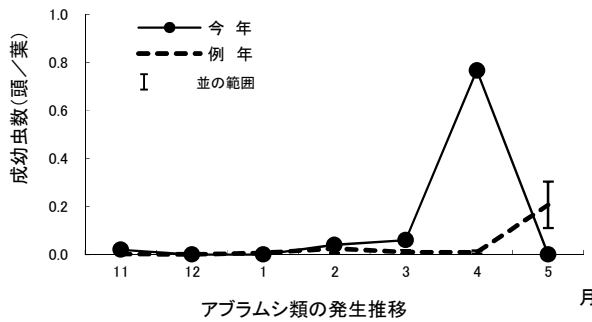
- ・ 調査地域：石垣市
- ・ 成虫数（頭/葉）：0.7（前年0.3、平年0.2、判定「多」） ※一部ほ場で多発

防除のポイント

- ・ 多発すると排泄物によるすす病が発生し、光合成を阻害する。
- ・ 施設の出入口や側窓は0.6ミリ以下のネット等で被覆し、成虫の侵入を防ぐ。
- ・ 施設周辺の雑草は本種の発生源になるため除去する。
- ・ 多発すると防除が困難になるので、葉裏をよく観察し、早期発見・防除に努める。
- ・ 薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。

作物	ゴーヤー（施設）	地域	八重山群島
病害虫名	⑤ アブラムシ類		
5月の発生量（現況）	(発生なし)やや少		
6月の増減傾向	↗		
増減傾向の根拠	今後1か月の気温が平年より高い見通しから、5月より発生量は増加すると考えられる。		


発生量の根拠（調査結果）



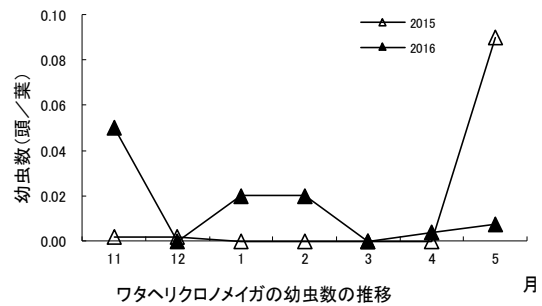
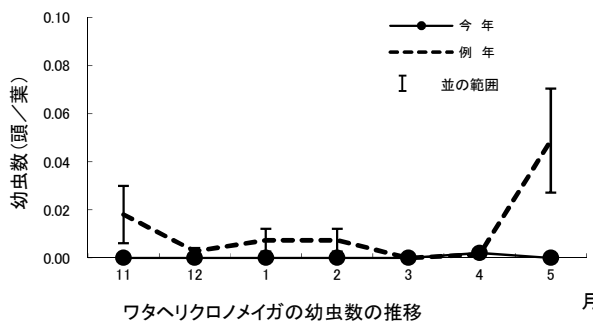
- ・ 調査地域：石垣市
- ・ 成虫・幼虫数（頭/葉）：0（前年0.39、平年0.21、判定「やや少」）

防除のポイント

- ・ 本種はウイルス病を媒介する。
- ・ 施設の出入口や側窓は0.6ミリ以下のネット等で被覆し、有翅虫の侵入を防ぐ。
- ・ 施設周辺の雑草は本種の発生源になるため除去する。
- ・ 発生初期は局所的に分布するので、被害葉を除去し、スポット散布を行う。

作物	ゴーヤー（施設）	地域	八重山群島
病害虫名	ワタヘリクロノメイガ		
5月の発生量（現況）	(発生なし)やや少		
6月の増減傾向	↗		
増減傾向の根拠	今後1か月の気温が平年より高い見通しから、5月より発生量は増加すると考えられる。		

発生量の根拠（調査結果）



- ・ 調査地域：石垣市
- ・ 幼虫数（頭/葉）：0（前年0.1未満、平年0.1未満、判定「やや少」）

防除のポイント

- ・ 若齢幼虫は表皮を残して食害するが、中齢以降の幼虫は葉を綴り合わせてその中で食害し、葉脈を残して食べ尽くすこともある。また果実表面やつるも食害する。
- ・ 中齢以降の幼虫は巻き葉内で生活し、薬効も低いので、若齢期の防除に努める。